

2026年7月1日

東京都港区芝浦四丁目2番8号
株式会社エクサウィザーズ
代表取締役 春田 真

東京都港区芝浦四丁目2番8号
株式会社 ExaMD
代表取締役 羽間 康至

吸収分割に係る事前開示事項の訂正について

2026年5月25日付で公衆の縦覧に供した法定事前開示書類「吸収分割にかかる事前開示書面」について、当該内容の一部に訂正すべき事項がございましたので、改めて、当該書面の全部を掲載いたします。訂正箇所は下記のとおりです。

記

1. 訂正事項

(1) 最終事業年度の計算書類等（別紙2）の訂正

当初開示書類「4. 承継会社に関する事項」のうち「最終事業年度に係る計算書類等」に関する事項（別紙2）を、2025年3月期に係る計算書類等一式（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表及び事業報告）とすべきところ、貸借対照表以外の書類が欠落しており、また、2026年6月17日付で承継会社の株主総会において2026年3月期の計算書類が承認されたため、別紙2を最新の計算書類等に訂正するものです。

(2) その他の訂正

上記(1)のほか、当初開示書類の内容の一部に訂正すべき事項がございましたので、改めて、当該書面の全部を掲載いたします。訂正箇所は、下線で表示している通りです。

（以下、余白）

吸収分割にかかる事前開示書面

(吸収分割会社：会社法第 782 条第 1 項及び会社法施行規則第 183 条に基づく開示事項
吸収分割承継会社：会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 192 条に基づく開示事項)

2026 年 5 月 25 日

株式会社エクサウィザーズ

株式会社 ExaMD

東京都港区芝浦四丁目2番8号
株式会社エクサウィザーズ
代表取締役 春田 真

東京都港区芝浦四丁目2番8号
株式会社 ExaMD
代表取締役 羽間 康至

株式会社エクサウィザーズ（以下「当社」又は「分割会社」といいます。）及び株式会社 ExaMD（以下「承継会社」といいます。）は、2026年5月12日付で吸収分割契約を締結し、2026年7月1日を効力発生日として、分割会社が営む介護事業のうち分割会社が提供するサービス「CareWiz タクスト」及び「CareWiz BCP」に関する事業における権利義務を承継会社に承継させる吸収分割（以下「本件吸収分割」といいます。）を行うこととしました。

本件吸収分割に関する事項は、下記のとおりです。

記

1. 吸収分割契約の内容

別紙1のとおりです。

2. 分割の対価の定め相当性に関する事項

本件吸収分割に際して、株式その他一切の金銭の交付は行いません。分割会社が承継会社の発行済株式の全部を保有していることから相当であると判断しております。

3. 分割会社に関する事項

(1) 最終事業年度に係る計算書類等

分割会社は、有価証券報告書及び半期報告書を関東財務局に提出しております。最終事業年度に係る計算書類については、「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）」よりご覧いただけます。

(2) 最終事業年度の末日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な後発事象等の内容

① 株式会社三井住友フィナンシャルグループとの資本業務提携及び第三者割当による新株式の発行

当社は、2026年3月31日開催の取締役会において、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高島誠）と

の間で資本業務提携を行うこと及び同社に対する第三者割当による新株式の発行を行うことを決議し、同日付で資本業務提携契約を締結しております。資本業務提携契約及び第三者割当による新株式の発行の概要は、以下の通りです。

ア 資本業務提携契約及び第三者割当による新株式の発行の概要

(ア) 資本業務提携先企業の名称及びその事業内容

名称	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
事業内容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに附帯する業務等

(イ) 資本業務提携及び第三者割当による新株式の発行の目的

当社グループは、創業来高いセキュリティレベルを求める日本企業のオフィスワーカーが業務で使える、AI・生成AIのソリューションやプロダクトの開発・提供をし、国内AI市場のリーディングカンパニーとしてAIの活用と普及に取り組んでまいりました。2025年12月末時点で、2,000社に及び企業との取引を通じて、業務効率化、生産性向上に寄与しています。

株式会社三井住友フィナンシャルグループは、生成AIやそれに伴うシステムの高度化によって、金融ビジネス業界が大きな変革に直面している中、グループ全体でのAIトランスフォーメーションを積極的に推進しています。

当社は、2025年8月より株式会社三井住友フィナンシャルグループの事務領域におけるEnd-to-EndのAIエージェント開発、並びにexaBaseロープレを活用した人材育成支援等を進めてまいりました。これらを通じて、AIエージェントアプリや技術アセット、着実に積み重ねてきたノウハウと信頼関係に基づき、株式会社三井住友フィナンシャルグループにおけるAIトランスフォーメーションの推進パートナーとして関係を深化させてきました。そして、両社は金融機関および周辺領域におけるAI活用による業務とビジネスモデルの高度化・刷新を加速することを目的とした本資本業務提携の締結について合意いたしました。

当社は、本資本業務提携を通じて、株式会社三井住友フィナンシャルグループとの協力関係及び推進体制を一層強固なものとし、金融及び周辺領域におけるAI活用・DX推進を加速させることで、金融業界の発展並びに社会全体の生産性向上に寄与してまいります。あわせて、本資本業務提携により当社の事業基盤および収益機

会の拡大を図ることで、中長期的な企業価値および株主価値の向上を目指してまいります。

(ウ) 資本業務提携の内容

a. 業務提携の内容

当社は、まずは株式会社三井住友フィナンシャルグループにおける AI トランスフォーメーションの実現を最優先課題として位置づけ、同グループの事業領域をはじめとする業務プロセスやビジネスモデルの高度化・効率化を AI の活用によって支援してまいります。その過程で、本資本業務提携を通じて両社に蓄積される AI エージェントに関するアプリケーション・技術アセットや業務ノウハウ等のうち、当社及び株式会社三井住友フィナンシャルグループ以外の金融機関・企業にも有用であり汎用性を有するものについては、両社で協議のうえプロダクト・ソリューションとして外販展開することにより、新たな事業機会の創出と両社の事業成長につなげていくことを目指します。

b. 資本提携の内容

第三者割当増資により調達する資金（以下、「本調達資金」）については、株式会社三井住友フィナンシャルグループ向けの専任チームの採用・育成等に係る人件費に充当し、同社の AI トランスフォーメーションを複数年度にわたり継続的かつ機動的に推進できる体制を構築するとともに、本資本業務提携の推進の過程で当社単独ではカバーしきれない先端技術や専門知見を補完することを目的として、関連技術・人材を有する企業に対する将来的な M&A や資本参加等の戦略的投資の原資として活用することを想定しております。これらの取組みを安定的かつ中長期的に遂行するためには、単なる業務提携にとどまらず、両社の中長期的な関係性を明確化し、相互のインセンティブを一致させる資本関係を構築することが有効であると判断し、第三者割当増資を通じた資本提携を併せて実施することといたしました。

(エ) 第三者割当による新株式の発行の概要

(1) 株式の種類及び数	当社普通株式 9,550,000 株
(2) 払込金額	1 株につき 565 円
(3) 払込金額の総額	5,395,750,000 円
(4) 増加する資本金の額	2,697,875,000 円

(5) 増加する資本準備金の額	2,697,875,000 円
(6) 募集又は割当方法	<u>第三者割当</u>
(7) 払込期日	2026 年 4 月 16 日
(8) 割当予定先	株式会社三井住友フィナン シャルグループ
(9) その他	上記の各号については、金 融商品取引法に基づく届出 の効力発生を条件としま す。

② 吸収分割（簡易吸収分割）による事業承継

当社は、2026 年 2 月 12 日開催の当社取締役会において、2026 年 4 月 1 日を効力発生日として、当社の HR Tech 事業を完全子会社である株式会社 Exa Enterprise AI へ承継させることを決議いたしました。

ア 吸収分割の概要

(ア) 吸収分割の目的

従来、当社の HR Tech 事業は、DX 人材育成サービス「exaBase DX アセスメント&ラーニング」を中心に事業を拡大してまいりました。しかしながら、近年 AI の技術的成熟度が急速に高まり、AI を業務に適用できる領域が飛躍的に拡大しております。これに伴い、市場の関心も DX から AX (AI Transformation) へと移行しつつあります。こうした環境変化を踏まえ、当社の HR Tech 事業においても、AX 人材育成ソリューションの拡充を進めており、今後も AI の利活用教育や AX を実現できる人材の育成サービスを強化していく方針であります。

一方、株式会社 Exa Enterprise AI では、「exaBase 生成 AI」を中心に、生成 AI を活用したプロダクト・ソリューション群の開発・提供を推進してまいりました。当社 HR Tech 事業と株式会社 Exa Enterprise AI の事業は、顧客層やサービス内容において重なる部分が多く、組織的に統合することで、意思決定の迅速化及び開発スピードの向上が可能となり、企画・開発・営業のすべての領域において生産性向上とシナジーの創出が見込まれます。

以上の理由から、HR Tech 事業を株式会社 Exa Enterprise AI へ移管し、最適化された組織体制の下で事業拡大を図ってまいります。本再編を通じて、グループ全体での経営資源の最適配分を実現し、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

(イ) 吸収分割の要旨

a. 吸収分割の方式

当社を分割会社とし、株式会社 Exa Enterprise AI を承継会社とする吸収分割（簡易吸収分割）です。

b. 吸収分割に係る割当ての内容

吸収分割は、当社が当社の完全子会社との間で行うものであるため、無対価分割とし、株式会社 Exa Enterprise AI から株式の割当、金銭その他財産の交付は行われません。

c. 吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に係る取扱い

当社が発行済の新株予約権について本吸収分割により承継されることはありません。また、当社は新株予約権付社債を発行していません。

d. 吸収分割により増減する資本金

吸収分割による当社の資本金の増減はありません。

e. 吸収分割承継会社が承継する権利義務

株式会社 Exa Enterprise AI は、HR Tech 事業に関する資産、負債及び契約上の地位等の権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継します。

f. 債務履行の見込み

吸収分割後に当社及び株式会社 Exa Enterprise AI が負担すべき債務について、その履行の見込みに問題はないものと判断しております。

(ウ) 吸収分割の当事会社の概要

	吸収分割会社	吸収分割承継会社
① 名称	株式会社エクサウィザーズ	株式会社Exa Enterprise AI
② 所在地	東京都港区芝浦四丁目2番8号	東京都港区芝浦四丁目2番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 CEO 春田 真	代表取締役 大植 択真
④ 事業内容	AIを利活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決	生成AI等のテクノロジーを利活用したプロダクト・サービス等の企画・開発・販売による企業の生産性の向上
⑤ 資本金	2,491百万円	300百万円（準備金含む）
⑥ 設立年月日	2016年2月	2023年10月
⑦ 発行済株式数	87,156,500株（2026年3月末時点）	100株（2026年3月末時点）
⑧ 決算期	3月31日	3月31日

⑨ 大株主及び持株比率 (2026年3月末時点)	株式会社ベータカタリスト 9.53%	株式会社エクサウィ ザーズ 100%
	坂根 裕 4.40%	
	日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口) 3.79%	
	古屋 俊和 3.74%	
	株式会社RH 3.49%	
	株式会社KH 3.49%	
	株式会社日本カストディ銀行 (信託口) 3.43%	
	上田八木短資株式会社 2.33%	
	春田 真 1.83%	
	D4V1号投資事業有限責任組合 1.74%	
⑩ 直前事業年度の経営成績及び財政状態 (2026年3月期)		
	株式会社エクサウィザーズ (連 結)	株式会社Exa Enterprise AI
純資産	4,750百万円	1,226百万円
総資産	9,436百万円	2,343百万円
1株当たり純資産	53.18円	12,266,477.49円
売上高	11,996百万円	3,171百万円
営業利益	1,594百万円	1,054百万円
経常利益	1,566百万円	1,061百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,533百万円	664百万円
1株当たり当期純利益	18.13円	6,646,710.88円

(注) 「⑩直前事業年度の経営成績及び財政状態」のうち、株式会社 Exa Enterprise AI の「親会社株主に帰属する当期純利益」については、当期純利益を記載していません。

③ 子会社の設立

ア 当社は、2026年3月12日開催の当社取締役会において、株式会社 Exa Frontier Edge を設立することを決議し、同年6月1日に設立を完了いたしました。

(ア) 子会社の設立の概要

i. 子会社の設立の目的

近年、生成 AI や AI エージェントの進化により、ソフトウェア開発や業務改善のあり方は大きく変化しつつあります。設計・開発・テスト・運用といった工程の多くが AI によって自動化・高度化されることで、最初から AI を前提に構築された新しいサービスや新規参入企業が、既存の労働集約的な IT サービス市場を根本から代替し、その構造を一変させる可能性が急激に高まっています。

こうした急激な変化を先取りするためには、既存の組織や開発プロセスに AI を「追加」するだけでは不十分です。しがらみのない環境で、AI を前提とした組織設計・開発プロセス・サービスモデルをゼロから構築する、AI ネイティブな発想が不可欠です

当社は、この変革を自ら実践するため、AI エージェントを前提とした開発・運用プロセスを持つ株式会社 Exa Frontier Edge を設立し、自ら既存の SI 構造を打ち破ることで、次世代の AI ネイティブ SI 市場の創出を目指します。

ii. 設立する子会社の概要

① 名称	株式会社Exa Frontier Edge
② 所在地	東京都港区芝浦四丁目2番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 福田 政史
④ 事業内容	AI駆動開発を基盤とした、AI活用を前提とする設計・開発・運用
⑤ 資本金	300百万円（準備金を含む）
⑥ 決算期	3月31日
⑦ 大株主及び持株比率	株式会社エクサウィザーズ 100%

イ 当社は、2026年6月9日開催の当社取締役会において、株式会社 Exa Interaction Design Lab を設立することを決議いたしました。なお、本書面作成日現在、当該子会社の設立手続き中であります。

(ア) 子会社設立の概要

i. 子会社設立の目的

近年、生成 AI の進化によりコーディングエージェントが急速に普及し、ソフトウェア開発の生産性は飛躍的に向上しています。一方で、一部の外部 AI プラットフォームに依存するケ

ースが増え、特定ベンダーへの依存や API 料金の高騰や料金体系変更によるコストリスク、モデル更新や仕様変更による技術選択の制約など、中長期的な経営・技術リスクが顕在化しつつあります。

また、AI エージェント時代においては、「人がシステムを操作する」世界から、「AI が業務を遂行し、人が意思決定を行う」世界へと急速にシフトしており、企業はこの流れに合わせて業務プロセスそのものを再設計できる余地が生まれます。画面遷移を中心に設計していたシステムを、自然言語を用いたエージェントとの対話を前提とした設計に変化していくことが想定されます。

このような環境下で当社が持続的な競争力を維持・強化していくためには、汎用的な技術を利用するだけでなく、当社独自の AI 技術を先駆けて開発していく必要があります。

また、当社はグループ全体の成長とシナジー最大化を目的として、グループシナジー戦略「3P×フロンティア」を掲げています。「フロンティア」とは、機動性が高く、特定の事業・業界に特化した戦略子会社群を指しており、それぞれが現場に深く入り込むことで、AI の社会実装を加速させることを目指しています。

こうした社会的・事業的背景を踏まえ、中長期的な視点で当社グループの技術基盤と競争優位性を強化していくことを目的に、将来の事業環境を見据えた AI 技術の開発と、その成果のプロダクトやサービスへの横断的な実装を担う専門組織として、本子会社を設立することとしました。

ii. 設立する子会社の概要

① 名称	株式会社Exa Interaction Design Lab
② 所在地	東京都港区芝浦四丁目2番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 坂根 裕
④ 事業内容	・ AIエージェントを活用した業務変革に関する技術の研究開発。 ・ ローカルLLM基盤及びAIエージェント基盤の構築・運用、並びに自然言語による対話を前提とした動的なUI/UXの設計開発。

⑤ 資本金	100百万円（準備金を含む）
⑥ 決算期	3月31日
⑦ 大株主及び持株比率	株式会社エクサウィザーズ 100%

④ 子会社株式の追加取得

当社は、2026年4月22日開催の当社取締役会において、連結子会社である株式会社エクサホームケアの株式を追加取得し、完全子会社化することを決議いたしました。

ア 株式の追加取得の概要

(ア) 株式の追加取得の目的

介護事業向けの中核プロダクト「CareWiz トルト」を展開する株式会社エクサホームケアを当社グループに完全統合するとともに、当社の完全子会社であり、医療事業向けAIプロダクトを提供する株式会社ExaMDとの連携を一層強化し、開発及び販売体制の効率化を図ることを目的として行うものです。

当社は、株式の追加取得により、株式会社ヤマシタが保有する株式会社エクサホームケアの全株式を取得し、株式会社エクサホームケアを完全子会社といたします。

なお、株式の追加取得と同時に、株式会社ヤマシタとの合弁契約は解消いたします。

(イ) 株式を取得する連結子会社（株式会社エクサホームケア）の概要

① 名称	株式会社エクサホームケア
② 所在地	東京都港区芝浦四丁目2番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 羽間 康至
④ 事業内容	AIを利活用した介護・福祉用具関連サービスの開発、販売
⑤ 資本金	91百万円
⑥ 設立年月日	2021年5月
⑦ 発行株式数	200株
⑧ 決算期	3月31日
⑨ 大株主及び持株比率	株式会社エクサウィザーズ 51% 株式会社ヤマシタ 49%
⑩ 直近事業年度の経営成績及び財政状態（2026年3月）	

純資産	225百万円
総資産	277百万円
1株当たり純資産	1,127,172.78円
売上高	236百万円
営業利益	63百万円
経常利益	63百万円
当期純利益	65百万円
1株当たり当期純利益	325,926.15円

(ウ) 株式取得の相手先の概要

① 名称	株式会社ヤマシタ	
② 所在地	静岡県島田市中河 737	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山下 和洋	
④ 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉用具レンタル・販売 • 住宅改修 • 居宅介護支援事業 • リネンサプライ • 寝具リース • 受託サービス事業 	
⑤ 資本金	1億円	
⑥ 設立年月日	1963年3月6日	
⑦ 純資産	-	
⑧ 総資産	-	
⑨ 大株主及び持株比率	-	
⑩ 上場会社と当該会社の関係	資本関係	エクサウィザーズと合併でエクサホームケアを設立
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	CareWiz トルトを顧客として利用
	関連当事者	該当事項はありません。
	への該当状況	

※上記の⑦、⑧及び⑨は、相手先の要望により非開示とさせていただきます。

(エ) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	102株
-------------	------

(議決権の数：102 個)、(議決権所有割合：51.0%)

② 取得株式数 98 株
(議決権の数：98 個)

③ 取得価額 160 百万円

④ 異動後の所有株式数 200 株
(議決権の数：200 個)

(議決権所有割合：100.0%)

- ⑤ 当社は、2026 年 5 月 22 日開催の当社取締役会において、MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社（以下、「MS&AD グループ」）との間で、同年 6 月を目途に合弁会社を設立することについて決議し、同年 6 月 1 日に MS&AD AX 株式会社の設立を完了いたしました。

ア 合弁会社設立の概要

(ア) 合弁会社設立の目的

当社及び当社の連結子会社は、創業以来、高いセキュリティレベルを求める日本企業のオフィスワーカーが業務で利用できる AI・生成 AI のソリューション及びプロダクトの開発・提供を行い、国内 AI 市場のリーディングカンパニーとして AI の活用と普及に取り組んでまいりました。2026 年 3 月末時点では、2,500 社におよぶ企業との取引を通じて、業務効率化及び生産性向上に寄与してまいりました。その中でも、創業当初から金融業務における AI の利活用に数多く携わってまいりました。

一方、合弁相手先である MS&AD グループは、国内損害保険業界を牽引するリーディングカンパニーとして、「お客さまから最も選ばれる保険・金融グループ」となることを目指す取り組みとして、世界に広がる事業基盤を通じ、最適な安心・最高の体験・最先端のソリューションを提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来に貢献することを目標に掲げております。近年、保険業界を取り巻く環境は大きく変化し、顧客ニーズの多様化や社会課題の複雑化が進む中、AI 及び生成 AI を活用した業務変革（AX：AI Transformation）の重要性は急速に高まっております。MS&AD グループにおいても、新たな経営計画の元、グループ全体の AX 推進を経営の重要テーマと位置づけ、AI 技術の本格的な活用に向けた取り組みを加速させております。

しかしながら、保険業をはじめとする金融機関においては、高度なセキュリティ要件やコンプライアンス上の制約等から、既存のシステム環境やルールの中での AI 活用の推進に一定の制約が存在いたします。こうした課題を解決し、機動的かつ実効性の高い AI 活用を実現するためには、新たに整備された環境及びプロセスの下で、AI 活用・開

発案件を継続的に創出・推進する専門組織を設立し、人財育成やノウハウ蓄積による内製化が必要との認識で両社は一致いたしました。

かかる認識のもと、当社が長年培ってまいりました金融業務における AI 利活用の知見及び最先端の AI・生成 AI 技術と、MS&AD グループが有する保険事業の深い業務知見及び豊富なデータ資産を融合させることにより、以下の目的の達成を目指し、本合弁会社を設立することといたしました。

① 損害保険領域における AI ソリューションの共創

MS&AD グループが保有する保険業務の深い業務知見及び豊富なデータと、当社が有する最先端の AI・生成 AI 技術を融合させ、本合弁会社において損害保険領域に特化した AI ソリューションの企画、開発及び実装を推進いたします。これにより、保険事業の業務プロセス及び顧客体験の高度化を実現し、損害保険業界全体の変革に貢献してまいります。

② 将来的な内製化に向けた AI 開発環境及び社内ガバナンスの構築

MS&AD グループは、AI 開発・運用機能の内製化を AX 推進における重要課題の一つと位置付けております。本合弁会社において、保険事業特有のセキュリティ要件及びコンプライアンス要請に対応した AI 開発・運用環境並びに社内ガバナンス体制を整備し、MS&AD グループが将来的に AI の企画・開発・運用を自律的に担うための基盤構築を進めてまいります。

③ AI プロフェッショナル人財の育成支援

本合弁会社における共同での AI 案件推進を通じて、MS&AD グループの社員が当社の専門人財と協働しながら保険業務に精通した AI プロフェッショナル人財として育成される機会を継続的に創出いたします。また、急速に進化する AI 領域における最先端の技術動向及びナレッジを継続的に収集し、育成プログラム及び実案件への実装を通じてグループ内へ還元することで、人財の専門性向上と競争優位性の確保に貢献してまいります。

本合弁会社の設立を通じて、MS&AD グループの AX を強力に推進するとともに、当社といたしましても金融・保険領域における事業基盤を一層強化し、両社の中長期的な企業価値向上に資するものと判断してお

ります。

(イ) 合併会社の内容

①名称	MS&AD AX 株式会社
②所在地	東京都千代田区神田駿河台 3-9
③代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 藤岡 晋
④事業内容	・ AI 開発受託（企画、P o C、開発、システム運用を含む） ・ 付随サービス（技術調査、検証、技術コミュニティや情報等の発信）
⑤資本金	9.99 億円
⑥設立年月日	2026 年 6 月
⑦決算期	3 月 31 日
⑧純資産	9.99 億円
⑨総資産	9.99 億円
⑩出資比率	MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 90.0% 株式会社エクサウィザーズ 10.0%

4. 承継会社に関する事項

(1) 最終事業年度に係る計算書類等

別紙 2 のとおりです。

(2) 最終事業年度の末日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な後発事象等の内容

該当事項はありません。

5. 効力発生日以後における分割会社及び承継会社の債務の履行の見込みに関する事項

分割会社及び承継会社の 2026 年 3 月 31 日現在の貸借対照表における資産の額は負債の額を十分に上回っており、本件吸収分割の効力発生日以降における分割会社及び承継会社の資産の額は、負債の額を十分に上回る見込みです。また、本件吸収分割の効力発生日以降において、分割会社及び承継会社が負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事象の発生は現在のところ予想されておられません。

上記を踏まえ、また、分割会社及び承継会社の収益状況及びキャッシュフロー等に鑑み、本件吸収分割の効力発生日以降における分割会社及び承継会社の債務の履行の見込みがあるものと判断しております。

6. 吸収分割契約等備置開始日後吸収分割が効力を生ずる日までの間に、上記の事項に変更が生じたときは、変更後の当該事項

吸収分割契約等備置開始日後に上記の事項に変更が生じたときは、変更後の内容を直ちに開示いたします。

以上

吸収分割契約書

株式会社エクサウィザーズ（以下「甲」という。）と株式会社 ExaMD（以下「乙」という。）は、甲の介護事業のうち甲が提供するサービス「CareWiz タクスト」及び「CareWiz BCP」に関する事業（以下「本事業」という。）に関して有する権利義務を乙に承継させる吸収分割に関し、以下のとおり吸収分割契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条（吸収分割）

甲は、本契約の定めに従い、吸収分割（以下「本分割」という。）により、本事業に関して有する本権利義務（第3条第1項において定義する。以下同じ。）を、効力発生日（第6条において定義する。以下同じ。）に、乙に承継させ、乙は、これを甲から承継する。

第2条（商号及び住所）

本分割に係る吸収分割会社及び吸収分割承継会社の商号及び住所は、それぞれ次のとおりである。

(1) 吸収分割会社（甲）

商号：株式会社エクサウィザーズ
住所：東京都港区芝浦四丁目2番8号

(2) 吸収分割承継会社（乙）

商号：株式会社 ExaMD
住所：東京都港区芝浦四丁目2番8号

第3条（承継する権利義務等）

- 本分割により乙が甲から承継する資産、債務、雇用契約その他の権利義務（以下「本権利義務」という。）は、別紙のとおりとし、別紙に記載のない権利義務は承継しない。
- 本分割による甲から乙に対する債務の承継については、重畳的債務引受の方法による。

第4条（分割対価）

乙は、本分割に際して、一切の対価を甲に交付しない。

第5条（乙の資本金及び準備金）

本分割により、乙の資本金及び準備金の額はいずれも増加しない。

第6条（効力発生日）

本分割がその効力を生ずる日（以下「効力発生日」という。）は、2026年7月1日とす

る。ただし、本分割に係る手続の進行その他の事由により必要があるときは、甲及び乙は、効力発生日を変更することができる。

第7条（競業避止義務）

甲は、乙が承継する本事業について、競業避止義務を負わない。

第8条（本契約の変更、解除及び終了）

本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間に、本契約に従った本分割の実行に重大な支障となりうる事象が発生し若しくは判明した場合には、甲及び乙は、誠実に協議し合意のうえ、本契約を変更し、又は解除することができる。

第9条（協議事項）

本契約に定めるもののほか、本分割に際し必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲及び乙で協議のうえ、これを定める。

（以下余白）

別紙 1

本契約の成立を証するため、本書 2 通に甲乙が記名押印の上で各自 1 通を保有し、又は本契約の電磁的記録に甲乙が電子署名の上で各自これを保有する。

2026 年 5 月 12 日

甲：東京都港区芝浦四丁目 2 番 8 号
株式会社エクサウィザーズ
代表取締役 春田 真

乙：東京都港区芝浦四丁目 2 番 8 号
株式会社 ExaMD
代表取締役 羽間 康至

別紙 承継権利義務明細書

甲は、以下に記載する資産、負債及びその他の権利義務（法令上承継可能なものに限る。）を、承継対象外財産を除き、効力発生日において乙に承継させ、乙はこれを承継する。

1. 承継する資産

(1) 流動資産

本事業に属する売掛金、前払費用

(2) 固定資産

本事業に属するソフトウェア

2. 承継する負債

(1) 流動負債

本事業に属する前受金、未払金

3. 承継するその他の権利義務等

(1) 雇用契約

本分割において、甲の従業員との間で締結している雇用契約の承継は行わない。ただし、会社分割に伴う労働契約の承継等に関する法律第5条に基づき異議を申し出た従業員との雇用契約は除く。

(2) その他の契約等

本事業に関する契約上の地位及びこれらの契約に関連して発生した一切の権利義務。ただし、次に掲げる契約及びこれらの契約に基づき発生した一切の権利義務は除く。

① 承継に相手方の承諾が必要な契約のうち、相手方の承諾がないもの

② 甲及び乙が承継対象から除外することを別途合意したもの

以上

第 3 期

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

事 業 報 告

株式会社 ExaMD

事業報告

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

企業の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

①事業の状況

当事業年度は、設立来取り組んできたプログラム医療機器 (SaMD) の研究開発を事業化フェーズへ移行させ、自社による医療機器の開発・製造・販売体制を確立するとともに、認知症および運動器・リハビリの両領域で具体的な製品・サービスの社会実装を進めた一年となりました。

医療・ヘルスケア領域では、社会保障費の増大、健康・医療ニーズの多様化、医療サービスの地域格差の拡大が進行しており、業界の垣根を越えてこれらの社会課題を解決するデジタル技術・AI サービスの社会実装が強く期待されています。こうした事業環境のもと、当社は超高齢社会の課題解決に資する製品群の整備と臨床エビデンスの構築を重点的に推進しました。

②設備投資等の状況

特記事項はありません。

③資金調達の状況

2026年2月、エクサウィザーズより2億円の資金調達を完了

④他の会社の株式その他の持分又は新株予約権の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

⑤他の会社の事業の譲受の状況

該当事項はありません。

⑥事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

⑦吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

⑧対処すべき課題

当社は、認知症および運動器・リハビリの両領域を中心に、AI を利活用した超高齢社会の課題解決に取り組んでまいります。当事業年度末日後の事業展開を踏まえ、当面の重点課題は以下のとおりです。

(1) 認知機能 AI 診断支援アプリ (音声 SaMD) の承認取得

治験届の提出に続き、第1症例目の被験者登録 (FPI) が完了し、臨床開発は実行フェーズに入りました。今後は、被験者登録および治験を計画どおり完遂して有効性・安全性を検証し、優先審査指

定の利点を最大限に活かして製造販売承認取得および早期の販売開始を実現することが最優先課題です。

(2) ヘルスケア市場における「CogniTalk」の事業化・導入拡大

当事業年度末日後に提供を開始した独自音声 AI「CogniTalk」について、本格的な事業化を進めます。API やエッジ AI 等の提供形態を活かし、金融・介護をはじめとする幅広い領域での導入を拡大すること、ならびに沖縄県の健康長寿エコシステム構築事業への参画など、自治体・産学医連携による実証を通じて全国展開可能な予防医療モデルを構築することが課題となります。これにより、規制下にある診断系 SaMD（医療領域）と、ヘルスケア領域のサービスとを両輪とする事業ポートフォリオの確立を目指します。

(3) 運動器・リハビリ領域における製品の普及とエビデンス蓄積

上市済みの歩行分析 AI アプリ「LocoStep」について、医療機関・リハビリテーション施設への導入拡大を図るとともに、熊本大学・菊陽町 J-MINT 研究での採用に代表されるアカデミアとの連携を通じて、臨床エビデンスの一層の蓄積と製品価値の向上を進めます。

(4) 効率的な臨床開発・事業化スキームの横展開

診断系 SaMD の臨床開発で構築した低コスト・短期間の臨床開発スキームのノウハウを活用し、臨床エビデンスに基づく新たなデジタルヘルスサービスを迅速に開発・社会実装してまいります。これらを通じ、医療領域にとどまらず健康領域も含めた新たな市場の形成・開拓を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財産及び損益の状況の推移

(単位：百万円)

区分 \ 期別	第 2 期 (前期) 2025 年 3 月期	第 3 期 (当期) 2026 年 3 月期
売上高	308	92
営業利益	86	▲135
経常利益	86	▲142
当期純利益	29	▲123
総資産	285	304
純資産	158	234

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

①親会社の状況

会社名	所在地	資本金	主要な事業内容	親会社が有する 当社の議決権比率
(株)エクサウィザーズ	東京都港区	2,491 百万円	AI を利活用した サービス開発	100%

②親会社との間の取引に関する事項

該当事項はありません。

③子会社の状況

該当事項はありません。

(4) 主要な営業所

名称	所在地
本社	東京都港区

(5) 従業員の状況

区分	従業員数
正社員	13 名
非正社員	6 名

(6) 主要な借入先及び借入額

該当事項はありません。

(7) その他会社の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

~~~~~

(※) 特段の注記のない限り、本事業報告中の記載金額については、表示単位未満の端数を切捨て、比率については表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

第 3 期

2025年4月1日から  
2026年3月31日まで

計 算 書 類

株式会社ExaMD

## 貸借対照表

(2026年 3月31日現在)

( 単位 : 百万円 )

| 資産の部      |     | 負債の部      |      |
|-----------|-----|-----------|------|
| 科目        | 金額  | 科目        | 金額   |
| 流動資産      | 263 | 流動負債      | 69   |
| 現金及び預金    | 175 | 未払金       | 69   |
| 売掛金       | 25  |           |      |
| 未収入金      | 41  |           |      |
| 未収消費税等    | 12  | 負債合計      | 69   |
| その他       | 8   |           |      |
|           |     | 純資産の部     |      |
| 固定資産      | 41  | 株主資本      | 234  |
| 有形固定資産    | —   | 資本金       | 150  |
| 無形固定資産    | 41  | 資本剰余金     | 178  |
| ソフトウェア仮勘定 | 41  | その他資本剰余金  | 178  |
| 投資その他の資産  | —   | 利益剰余金     | △ 94 |
|           |     | その他利益剰余金  | △ 94 |
|           |     | 繰越利益剰余金   | △ 94 |
|           |     | 純資産合計     | 234  |
| 資産合計      | 304 | 負債及び純資産合計 | 304  |

# 損益計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科目           | 金額 |       |
|--------------|----|-------|
| 売上高          |    | 92    |
| 売上原価         |    | 62    |
| 売上総利益        |    | 30    |
| 販売費及び一般管理費   |    | 165   |
| 営業損失         |    | △ 135 |
| 営業外収益        |    |       |
| 受取利息         | 0  | 0     |
| 営業外費用        |    |       |
| 雑損           | 8  | 8     |
| 経常損失         |    | △ 142 |
| 特別損失         |    |       |
| 減損損失         | 22 | 22    |
| 税引前当期純損失     |    | △ 165 |
| 法人税、住民税及び事業税 |    | △ 41  |
| 当期純損失        |    | △ 123 |

## 株主資本等変動計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)

|             | 株主資本 |           |              |             |              |             |       | 株主資本<br>合計 | 純資産合計 |
|-------------|------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------|------------|-------|
|             | 資本金  | 資本剰余金     |              |             | 利益剰余金        |             |       |            |       |
|             |      | 資本<br>準備金 | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | その他<br>利益剰余金 | 利益剰余金<br>合計 |       |            |       |
| 当期首残高       | 50   | -         | 78           | 78          | 29           | 29          | 158   | 158        |       |
| 事業年度中の変動額   |      |           |              |             |              |             |       |            |       |
| 新株の発行       | 100  | 100       | -            | 100         | -            | -           | 200   | 200        |       |
| 当期純損失       | -    | -         | -            | -           | △ 123        | △ 123       | △ 123 | △ 123      |       |
| 事業年度中の変動額合計 | 100  | 100       | -            | 100         | △ 123        | △ 123       | 76    | 76         |       |
| 当期末残高       | 150  | 100       | 78           | 178         | △ 94         | △ 94        | 234   | 234        |       |

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産  
ソフトウェア 定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は3年であります。

#### (2) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### 2. 損益計算書に関する注記

#### (1) 減損損失

##### (i). 減損損失を認識した資産又は資産グループの概要

| 区分    | 種類     | 場所    |
|-------|--------|-------|
| 事業用資産 | ソフトウェア | 東京都港区 |

##### (ii). 減損損失を認識するに至った経緯

当社の事業用資産については収益性の低下により投資金額の回収が見込めないことから、減損損失を認識するものであります。

##### (iii). 減損損失の金額

ソフトウェア資産 22百万円

##### (iv). 資産のグルーピングの方法

主として事業部単位でグルーピングを行っております。

##### (v). 回収可能価額の算定方法

回収可能価額をゼロとし、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 当事業年度末における発行済株式の株式数

普通株式 600 株

### 4. 重要な後発事象に関する注記

#### (1) 兄弟会社の吸収合併及び親会社からの事業承継

当社は、2026年5月12日開催の取締役会決議において、当社の兄弟会社である株式会社エクサホームケアを吸収合併すること、当社の親会社である株式会社エクサウィザーズと吸収分割契約を締結し、同社よりCareWiz事業を承継することを決議しました。

##### 1. 本組織再編の概要

###### (i) 本組織再編の目的

本組織再編は、グループ会社内のAIプロダクト事業セグメントのソーシャル領域における介護事業向けプロダクト「CareWiz」シリーズについて、医療向けプロダクトを担う当社を中核とする体制へ再編することで、医療・介護の両分野におけるAX化を一層加速させることを目的とするものです。

具体的には、当社に対し、これまで親会社である株式会社エクサウィザーズ（以下、「エクサウィザーズ」）及び兄弟会社である株式会社エクサホームケア（以下、「エクサホームケア」）でそれぞれ分散していた介護向けのプロダクト群を集約し、グループ全体としての事業ポートフォリオと経営資源の配分を最適化しようとするものです。

###### (ii) 決定事項の一覧と位置づけ

本組織再編は、以下の2つの取引から構成されます。

###### ① 兄弟会社間の吸収合併（以下、「本合併」）

当社がエクサホームケアを吸収合併する組織再編を行い、エクサホームケアの主力商品である「CareWiz トルト」も同時に当社へ統合します。

## ② 親子会社間の吸収分割(以下、「本吸収分割」)

当社を承継会社、エクサウィザーズを分割会社とし吸収分割を行い、エクサウィザーズに残存する「CareWiz タクスト」及び「CareWiz BCP」を当社が承継します。

## 2. 連結子会社間の吸収合併

## (i) 本合併の目的

「1. 本組織再編の概要」に記載の通り、エクサホームケアが展開する「CareWiz トルト」と、当社が有する医療・介護データ基盤やプロダクト開発機能を統合し、介護領域におけるプロダクトポートフォリオの一元管理と開発・営業体制の効率化を図ることを目的とするものです。

## (ii) 本合併の主旨

## ① 本合併の日程

取締役会決議日 : 2026年5月12日  
 契約締結日 : 2026年5月12日  
 実施予定日(効力発生日): 2026年7月1日(予定)

## ② 本合併の方式

当社を存続会社とし、エクサホームケアを消滅会社とする吸収合併方式です。

## ③ 本合併に係る割当ての内容

本合併による新株式の発行及び金銭等の交付はありません。

## ④ 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## (iii) 本合併当事会社の概要

|                              | 吸収合併存続会社                                                                                    | 吸収合併消滅会社                   |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| ① 名称                         | 株式会社ExaMD                                                                                   | 株式会社エクサホームケア               |
| ② 所在地                        | 東京都港区芝浦四丁目2番8号                                                                              | 東京都港区芝浦四丁目2番8号             |
| ③ 代表者の役職・氏名                  | 代表取締役 羽間 康至                                                                                 | 代表取締役 羽間 康至                |
| ④ 事業内容                       | 認知症をはじめとする健康・医療テーマに関する社会課題解決を目的とした、マルチモーダルAI技術を用いたプロダクトやサービス等の企画・開発・販売・アライアンス(プログラム医療機器を含む) | AIを活用した介護・福祉用具関連サービスの開発、販売 |
| ⑤ 資本金                        | 150百万円                                                                                      | 91百万                       |
| ⑥ 設立年月日                      | 2024年2月                                                                                     | 2021年5月                    |
| ⑦ 発行株式数                      | 600株                                                                                        | 200株                       |
| ⑧ 決算期                        | 3月31日                                                                                       | 3月31日                      |
| ⑨ 大株主及び持株比率                  | 株式会社エクサウィザーズ 100%                                                                           | 株式会社エクサウィザーズ 100%          |
| ⑩ 直近事業年度の経営成績及び財政状態(2026年3月) |                                                                                             |                            |
|                              | 株式会社ExaMD                                                                                   | 株式会社エクサホームケア               |
| 純資産                          | 234百万円                                                                                      | 225百万円                     |
| 総資産                          | 304百万円                                                                                      | 277百万円                     |
| 1株当たり純資産                     | 391,361.46円                                                                                 | 1,127,172.78円              |
| 売上高                          | 92百万円                                                                                       | 236百万円                     |
| 営業利益又は営業損失(△)                | △135百万円                                                                                     | 63百万円                      |
| 経常利益又は経常損失(△)                | △142百万円                                                                                     | 63百万円                      |
| 当期純利益又は当期純損失(△)              | △123百万円                                                                                     | 65百万円                      |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)    | △205,843.91円                                                                                | 325,926.15円                |

## (iv) 本合併後の状況

本合併による吸収合併存続会社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期はいずれも変更ありません。

## 3. 親子会社間の吸収分割

## (i) 本吸収分割の目的

「1. 本組織再編の概要」に記載の通り、エクサウィザーズに残存する介護事業向けプロダクト、CareWizシリーズの「CareWiz タクスト」及び「CareWiz BCP」に関わる事業(以下、「本事業」)を当社に承継させ、介護事業向けプロダクト群を当社に集約することで、事業運営の一体化と意思決定の迅速化を実現することを目的とするものです。

## (ii) 本吸収分割の主旨

## ① 本吸収分割の日程

取締役会決議日 : 2026年5月12日  
 契約締結日 : 2026年5月12日  
 実施予定日(効力発生): 2026年7月1日(予定)

## ② 本吸収分割の方式

当社を承継会社とし、エクサウィザーズを分割会社とする簡易吸収分割です。

## ③本吸収分割に係る割当ての内容

本吸収分割は、エクサウィザーズがエクサウィザーズの完全子会社との間で行うものであるため、無対価分割とし、当社から株式の割当、金銭その他財産の交付は行われません。本合併による新株式の発行及び金銭等の交付はありません。

## ④本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

エクサウィザーズが発行済の新株予約権について本吸収分割により承継されることはありません。また、エクサウィザーズは新株予約権付社債を発行していません。

## ⑤本吸収分割により増減する資本金

本吸収分割による当社及びエクサウィザーズの資本金の増減はありません。

## ⑥承継会社が承継する権利義務

当社は、本事業に関する資産、負債及び契約上の地位等の権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継します。

## ⑦債務履行の見込み

本吸収分割において、当社及びエクサウィザーズが負担すべき債務について、その履行の見込みに問題はないと判断しています。

## (iii)本吸収分割の当事会社の概要

|                                     | 分割会社                                                                                                                                                                                                        | 承継会社                                                                                        |
|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 名称                                | 株式会社エクサウィザーズ                                                                                                                                                                                                | 株式会社ExaMD                                                                                   |
| ② 所在地                               | 東京都港区芝浦四丁目2番8号                                                                                                                                                                                              | 東京都港区芝浦四丁目2番8号                                                                              |
| ③ 代表者の役職・氏名                         | 代表取締役社長 CEO 春田 真                                                                                                                                                                                            | 代表取締役 羽間 康至                                                                                 |
| ④ 事業内容                              | AIを利活用したサービス開発による産業革                                                                                                                                                                                        | 認知症をはじめとする健康・医療テーマに関する社会課題解決を目的とした、マルチモーダルAI技術を用いたプロダクトやサービス等の企画・開発・販売・アライアンス(プログラム医療機器を含む) |
| ⑤ 資本金                               | 2,491百万円                                                                                                                                                                                                    | 150百万円                                                                                      |
| ⑥ 設立年月日                             | 2016年2月                                                                                                                                                                                                     | 2024年2月                                                                                     |
| ⑦ 発行済株式数                            | 87,156,500株(2026年3月末時点)                                                                                                                                                                                     | 600株                                                                                        |
| ⑧ 決算期                               | 3月31日                                                                                                                                                                                                       | 3月31日                                                                                       |
| ⑨ 大株主及び持株比率(2026年3月末時点)             | 株式会社ベータカタリスト 9.53%<br>坂根 裕 4.40%<br>日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社(信託口) 3.79%<br>古屋 俊和 3.74%<br>株式会社RH 3.49%<br>株式会社KH 3.49%<br>株式会社日本カストディ銀行(信託口) 3.43%<br>上田八木短資株式会社 2.33%<br>春田 真 1.83%<br>D4V1号投資事業有限責任組合 1.74% | 株式会社エクサウィザーズ 100%                                                                           |
| ⑩ 直前事業年度の経営成績及び財政状態(2026年3月期)       | 株式会社エクサウィザーズ(連結)                                                                                                                                                                                            | 株式会社ExaMD                                                                                   |
| 純資産                                 | 4,750百万円                                                                                                                                                                                                    | 234百万円                                                                                      |
| 総資産                                 | 9,436百万円                                                                                                                                                                                                    | 304百万円                                                                                      |
| 1株当たり純資産                            | 53.18円                                                                                                                                                                                                      | 391,361.46円                                                                                 |
| 売上高                                 | 11,996百万円                                                                                                                                                                                                   | 92百万円                                                                                       |
| 営業利益又は営業損失(△)                       | 1,594百万円                                                                                                                                                                                                    | △135百万円                                                                                     |
| 経常利益又は経常損失(△)                       | 1,566百万円                                                                                                                                                                                                    | △142百万円                                                                                     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | 1,533百万円                                                                                                                                                                                                    | △123百万円                                                                                     |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)           | 18.13円                                                                                                                                                                                                      | △205,843.91円                                                                                |

(注)「⑩直前事業年度の経営成績及び財政状態」のうち、当社の「親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)」については、当期純損失を記載しています。

## (iv)分割する事業部門の概要

## ①分割又は承継する部門の事業内容

- AIを活用して書類作成・印刷・封入・郵送・署名回収の時間とコストを削減、効率化できる介護事業者向け電子書類管理サービス「CareWizタクト」に関する事業
- AIを活用して介護事業者のBCP(事業継続計画)を策定、緊急連絡、運用をトータルで支援するサービス「CareWiz BCP」に関する事業

## ②分割又は承継する部門の経営成績(2026年3月期)

## 1. CareWizタクト

|     | 本事業(a) | 2026年3月期連結実績(b) | 比率(a/b) |
|-----|--------|-----------------|---------|
| 売上高 | 44百万円  | 11,996百万円       | 0.37%   |

## 2. CareWiz BCP

|     | 本事業 (a) | 2026年3月期連結実績<br>(b) | 比率 (a/b) |
|-----|---------|---------------------|----------|
| 売上高 | 9百万円    | 11,996百万円           | 0.08%    |

## ③分割又は承継する資産、負債の項目及び帳簿価額(2026年3月31日時点)

## 1. CareWizタクスト

| 資産   |       | 負債   |      |
|------|-------|------|------|
| 項目   | 帳簿価額  | 項目   | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 12百万円 | 流動負債 | 9百万円 |
| 固定資産 | -百万円  | 固定負債 | -百万円 |
| 合計   | 12百万円 | 合計   | 9百万円 |

## 2. CareWiz BCP

| 資産   |      | 負債   |      |
|------|------|------|------|
| 項目   | 帳簿価額 | 項目   | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 3百万円 | 流動負債 | 1百万円 |
| 固定資産 | -百万円 | 固定負債 | -百万円 |
| 合計   | 3百万円 | 合計   | 1百万円 |

## (v)本吸収分割後の状況

本吸収分割による当社及びエクサウィザーズの商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金、決算期の変更はありません。

# 計算書類に係る附属明細書

## 第 3 期

2025年4月1日から  
2026年3月31日まで

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
2. 販売費及び一般管理費の明細

## 1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

| 区分             | 資産の種類     | 期首<br>帳簿価額<br>(百万円) | 当期<br>増加額<br>(百万円) | 当期<br>減少額<br>(百万円) | 当期<br>償却額<br>(百万円) | 期末<br>帳簿価額<br>(百万円) | 減価償却<br>累計額<br>(百万円) | 期末<br>取得原価<br>(百万円) |
|----------------|-----------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| 無形<br>固定<br>資産 | ソフトウェア    | -                   | 23                 | 19<br>(19)         | 3                  | -                   | -                    | -                   |
|                | ソフトウェア仮勘定 | -                   | 43                 | 2<br>(2)           | -                  | 41                  | -                    | -                   |
|                | 計         | -                   | 66                 | 22                 | 3                  | 41                  | -                    | -                   |

(注)1. 当期減少額の( )は内数で、当期減損損失計上額を記載しております。

## 2. 販売費及び一般管理費の明細

(単位:百万円)

| 科 目                | 金 額        | 摘 要 |
|--------------------|------------|-----|
| 役 員 報 酬            | 2          |     |
| 給 料 及 び 手 当        | 51         |     |
| 雑 給                | 6          |     |
| 法 定 福 利 費          | 4          |     |
| 採 用 費              | 7          |     |
| 広 告 宣 伝 費          | 6          |     |
| 旅 費 交 通 費          | 6          |     |
| 消 耗 品 費            | 0          |     |
| 教 育 研 修 費          | 3          |     |
| 業 務 委 託 費          | 38         |     |
| シ ス テ ム 利 用 料      | 3          |     |
| 研 究 開 発 費          | 31         |     |
| 租 税 公 課            | 2          |     |
| そ の 他              | 1          |     |
| <b>販売費及び一般管理費計</b> | <b>165</b> |     |